【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2003-237052(P2003-237052A)
【公開日】平成15年8月26日(2003.8.26)
【出願番号】特願2002-37995(P2002-37995)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ４１Ｊ　 2/01
　Ｂ２６Ｄ　 1/20
　Ｂ４１Ｊ　11/70
　Ｂ４１Ｊ　29/00
　Ｂ６５Ｈ　35/08
【ＦＩ】
　Ｂ４１Ｊ　 3/04　　１０１Ｚ
　Ｂ２６Ｄ　 1/20　　Ａ
　Ｂ４１Ｊ　11/70
　Ｂ６５Ｈ　35/08
　Ｂ４１Ｊ　29/00　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月31日(2005.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　連続した形態の記録媒体にインクを吐出して画像を形成するインクジェットプリンタであって、
　画像形成された記録媒体を切断する切断手段と、
　前記切断手段に切断された記録媒体にインクを定着させる定着手段とを備え、
　前記定着手段が前記切断手段よりも高い位置に設けられていることを特徴とするインクジェットプリンタ。
【請求項２】
　前記記録媒体は、熱可塑性樹脂粒子を含むインク受容層を有してなることを特徴とする請求項１に記載のインクジェットプリンタ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
　　【０００７】
　　【課題を解決するための手段】
　請求項１記載の発明は、
　連続した形態の記録媒体にインクを吐出して画像を形成するインクジェットプリンタであって、
　画像形成された記録媒体を切断する切断手段と、
　前記切断手段に切断された記録媒体にインクを定着させる定着手段とを備え、

前記定着手段が前記切断手段よりも高い位置に設けられていることを特徴としている。

ここで、前記記録媒体は、熱可塑性樹脂粒子を含むインク受容層を有していることが好ましい。